

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 2月 6日

公表: 令和 3年 3月 5日

事業所名 くら・らぼ児童発達支援事業所

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		環境が刺激にならないよう、グループ分けをするなどしていく
	2 職員の配置数は適切である	7			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		壁面などは最小限にし、利用児が集中して取り組める環境を作っている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		清掃、消毒、環境整備を徹底している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		常勤職員は利用児が降所してからの時間を振り返りの時間に使い、参加できない職員には、連絡ノートで共有できるようにしている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			今年度開所したため、初めての評価となる。保護者のご意見を受け止め、取り組んでいきたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			実施する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		第三者による外部評価は出来ていない	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的に勉強会を行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		主にリーダー職員間で検討し、全体で共有するようにしている	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		提案するも、定着しにくい状況もある。誰でも使いやすいツールを検討中
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインはいつでも確認できるようにしている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		だれでも確認しやすいよう、支援内容は具体的に作成している	継続していく
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		コロナ禍で活動が制限される中でも、出来ることを職員間で話し合いながら行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		常に楽しめる活動になるようにしている	詰め込みすぎないよう、内容が適切かを常に考えながら行っていく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		している	継続していく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼を徹底している。参加できない職員には連絡ノートで確認してもらっている	継続していく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		夕礼を徹底している。参加できない職員には連絡ノートで確認してもらっている	継続していく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎回記録をつけている	継続していく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		最低年2回は保護者の方との懇談を設け、計画の見直しを行っている	継続していく	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			今後も児童発達支援管理責任者が参加する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		コロナ禍で難しいが、必要性のある件に関しては優先して連携を行うようにしている	電話での連携を積極的に行っていきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		医療的ケア児は利用されていない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		医療的ケア児は利用されていない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		保護者の了解を得て個別支援計画を提示し、支援の共有を行っている	定時的に発行するお便りを併行先の園にも見ていただけるようにする
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		今年度初めて退所となるので、今までは行っていない。彼らが小学校に入学してからの連携は行いたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			連携をとる職員は限られている。他の職員も積極的に連携を取れるようにしていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		弊社の他事業所(小規模保育)との交流をしている	継続して行っていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	参加していない職員には報告している	特定の職員(社員)が参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳、電話、ラインで丁寧に行うようにしている	継続して行っていく
	保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧に行っている	継続していく
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		計画を確認していただき、適切と判断されたら押印いただくようにしている	継続していく
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳、電話、ラインなどですぐに対応するようにしている	継続していく
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		来年度は定期的に行いたい
36		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		事業所として出来ることは何かを常に考え、迅速に対応できるようにしている	継続していく
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		写真を載せて毎月クラスだよりを配布している	継続していく
38		個人情報の取扱いに十分注意している	7		写真をSNS等に掲載するときなどは特に慎重に行っている	継続していく
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		利用児の様子をラインで個別に送っている	事業所の様子が見えないので、少しでも安心していただけるように継続していく
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		地域の方に講師になっていただき、しめ縄作りなど計画して行った	継続して行っていく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	定期的に行っている	継続して行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	定期的に行っている	継続して行っていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	配慮が必要な利用児に関しては、弊社の他事業所の看護師にも報告し、連携が取れるようにしている	継続して行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	管理栄養士と協議し、指示書に基づいて対応できるようにしている	継続して行っていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	事例集はないが、ヒヤリハットが出た時には、書類を全員で確認している	継続して行っていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	今年度はオンライン開催の研修に参加した	継続して行っていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	契約時にも説明している	継続して行っていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 5日

アンケート期間:令和 3年 1月 10日～令和 3年 2月 6日

事業所名 くららぼ 児童発達支援事業所 保護者等数(児童数) 回収数 28 割合 96 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	0	0	1	広い活動スペースが確保されており、子ども伸び伸びと身体を動かせている。	今後もスペースを活かしながら様々な活動を行っていきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	2	十分な人数が確保されている。	配置基準を満たしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	0	0	2	絵カード等を使用し、この時間は何をするのか本人にわかりやすいよう配慮されている。	今後も視覚支援を利用し子ども自身でも整理整頓が行えるような支援を続ける。怪我の対策として床や壁はクッション素材を利用している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	0	0	0	どの空間も清潔で安全な環境になっている。	今後も環境を十分に整え、ウイルス対策にも努めていく。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	0	0	2	利用開始して間もない為まだわからない。子どもの課題等丁寧な説明があり、作成されている。	保護者の思いも十分に取り入れたうえで今後も一人一人に合った的確で分かりやすい計画を作成していく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	0	0	2	子どもの課題等丁寧な説明があり、作成されている。	今後も継続して取り組んでいく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	0	0	4		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	0	0	3	子どもが楽しめるような工夫がされている。	理念でもある「頑張ったらできた」と思える楽しい活動を今後も続けていく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	1	1	9		
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	0	0	2	丁寧な説明を受けている。	今後も継続していく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	22	2	0	4	アドバイスをもらっている。一緒に悩んで考えてくれる。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	1	0	1	おたよりやホームページにて活動内容の案内、毎回の連絡帳にてやり取りをしている。	今後も継続していく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	0	0	1	保護者懇談を定期的にしてもらって情報交換ができている。	コロナ禍ではあるが、丁寧な相談支援ができるよう今後も継続していく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4	3	4	コロナの為保護者同士の連携は難しい。	感染状況を踏まえた上で出来ることを考えていく。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	0	0	1	相談事があると迅速に対応して頂いてとてもありがたい。いつもありがとうございます。		

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	0	0	手帳やおたよりにて確認できている。	今後も継続していく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	0	0	0	毎月の様子をホームページやおたよりで見ることができるのでとても楽しみにしている。祖父母にも見せる事ができ、好評。	今後も継続していく。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	28	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	0	0	5		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	0	10		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27	1	0	0	行きたがる日とそうではない日がある。通所を楽しみにしている。	どの子にも安心して過ごせる場となるよう努めていく。
	23	事業所の支援に満足しているか	28	0	0	0	様々な経験をさせてもらえ成長が見られる。とても親身。満足。	今後も継続して取り組んでいく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。